

(4) 観光開発の指導、調整が必要である。

今後増加が予想される民間、公共の利用施設の計画、建設については土地、景観保護の立場からの指導、一般産業開発との調整の必要性が高まる。

地域別の問題点

阿蘇地域 横断道路の建設は急がれる。

区分	計画年次			昭33-昭45年平均成長率	
	基準年次 昭33	昭40	昭45		
観光客数	県外客	2,907千人 (100%)	5,029千人 (173%)	7,978千人 (274%)	8.8%
	県内客	2,857 (100%)	4,357 (152%)	5,319 (186%)	5.3
	計	5,764 (100%)	9,386 (163%)	13,297 (231%)	7.2
観光消費額	3,202百万円 (100%)	5,262百万円 (164%)	7,713百万円 (241%)	7.6	

ているが、その他の道路の整備、南小国、長陽地区の温泉群開発が遅れている。

天草地域 観光資源は多彩豊富であるが、その多くは未開発であり、拠点的な観光施設がない。

熊本地域 熊本市を中心往来する観光客は、年間二百三十三万人にのぼり、本県における観光経済のかなめとなつてはいるが、これに比べて熊本市とその周辺地区の開発、整備が遅れている。

したがって今後は、阿蘇、天草地域の開発整備はもろろん、特に熊本市とその周辺地区の開発を急ぐ。そこで次のような諸施策を進める。

新しい観光ルート

最近の「点」から「線」への、動く観光の傾向に、観光地をセット化するため、九州横断道路に沿つた別府-阿蘇-熊本-雲仙の国際観光ルートを始め、例えば下表のような県内外の主要観光地を結ぶ地方観光ルートを設定し、これに基づいて観光、交通施設を整備充実する。

誘致宣伝とサービス

誘致宣伝は、地域別、年令階層別にそれぞれに適した観光宣伝計画を樹てて行う。地域別には、名古屋以東および山陰地区に対する誘致宣伝を強化する。これまで遊者の多い北九州、京阪神

内牧温泉-阿蘇山上 地区等に対しては新しい「観光コース」を紹介宣伝する。

観光は九州へのキャッチフレーズのもとに、九州ブロックとして、国内および海外宣伝を強力に行なうよう、九州各県に働きかける。

新しい観光ルート

また、誘致宣伝の体制を強化するため、出先物産館(東京、大阪、小倉)に観光担当職員を配置して、観光態の調査、観光のあつた旋業者、修学旅行関係者等に対する紹介宣伝を強化し、その地域での誘致サービス活動の拠点とする。PR媒体の効果的利用 観光映画、カラーコルトン、スライド等の宣伝資料を作成して、宣伝会、各種催物に活用するとともに、報導機関の取材活動への協力、映画、レコード会社あるいは、作家、脚本家等の作品への県内観光地、民謡、民芸の取り入れ依頼などに努め、その広報性を利用した宣伝をはかる。

観光土産品の研究指導

観光客の観光土産品、民芸品に対する購買意欲は、きわめて高く、観光と物産は密接な関係にある。このため、郷土色を盛り込んだ独創的な土産品の工夫発見、民芸品の世代にマッチした改良を奨励する。

地域別の観光開発の方向

阿蘇地域

九州横断道路の早期完成の促進とあいまつて、古坊中地区、瀬の本地区を中心として、自然景観にマッチした開発をはかる。

熊本周辺地域

このため、松島、羊角湾(崎津)地区を中心にユースホステル、展望休憩舎、野営施設、自然植物園等の整備を進めるとともに、ヨットハーバー、観光ホテル、亜熱帯植物園、ヘリポート等の民間施設の誘導をはかる。

現在熊本市には、熊本市、水前寺公園等の有名観光地があるが、金峯山、立田山一帯をはじめ、熊本市周辺には歴史的、文学的に知られた観光資源も多いので、これらをつなげた新たな周遊コースの設定整備、熊本(北九州-山鹿温泉、玉名温泉)一菊池温泉-菊池水源-大観峯-阿蘇山-一湯の谷-熊本等のように、熊本を起点(または帰着点)とした観光ルートの確立、あるいは江津湖の遊園地化を進め、観光会館、ユースホステル、自然動物園等の観光施設の誘致をはかる。

天草地域 天草架橋の早期完成を促進するとともに、この地域の特色を生かした観光開発をはかり、名実ともに別府-阿蘇-雲仙の国際観光ルートに乗せるよう努める。

また、緑地や街路等の都市計画事業の推進、商店街の美化促進につとめ、観光都市形成を助長促進する。

励して、観光地産業の振興に資するとともに、土産品コンクールの開催、観光物産展、海外見本市への参加をはかつて、観光と物産の宣伝を併せ行なう。

阿蘇地域における畜産、林業、天草地域の水産、真珠、陶石、八代地域における工馬群、球磨川におけるダムなどのような地場の産業、あるいは産業施設を一般観光に積極的にとり入れて、産業と観光の結びつきを強め、教育観光、産業観光の実があらうよう努めるとともに、見学、産業視察等による観光消費の増加をはかる。

接遇面の改善向上 サービス学級を開設して、近代的な感覚をもつた旅館、観光施設の経営指導、観光地としての教養とサービス精神に富んだ従業員の養成につとめる。

また観光客に対する親切心の向上を目的とした県民運動を興し、観光県の県民として一人一人が接遇面の向上に心がけるよう指導する。

交通条件の整備促進

九州横断道路、天草架橋の早期完成を促進するとともに、公園道路および観光利用度の高い道路(大観峯-水源線)の整備をはかる。

鉄道

鹿児島本線の複線化(久留米-八代)電化(久留米-熊本)の早期完成を促進すると

観光アンケート結果 (%)

区	分	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	全国
阿蘇登山	はじめて	97.4	94.1	90.0	90.7	64.4	72.5	70.2	55.7	81.1
	2回以上	2.6	5.9	10.0	9.3	35.6	27.5	29.8	44.3	18.9
今まで熊本を訪れたことがあるか	あ	8.5	12.5	10.5	14.7	41.3	31.8	34.4	82.0	25.5
	ない	91.5	87.5	89.5	85.3	58.7	68.2	65.6	18.0	74.5

(注) 観光アンケート.....熊本国体参加の役員、選手9,142名を対象に人情、風物、施設、サービス等について調査した。(昭35.10)